

## 練習指導者

### 湯浅 茂子

大阪音楽大学付属音楽高等学校、大阪音楽大学声楽科卒業。同大学学部専攻科、大学院オペラ科を修了。上木倅、樋本栄、柴田睦陸、伊藤京子の各氏に師事。

NHK 主催 毎日新聞社後援 第25回全日本学生音楽コンクール独唱の部全国第一位受賞。日伊コンクールに入選。1980年(昭和55年度)、文化庁国内研修員に選ばれる。1979年関西歌劇団に入団以来、1982年海外留学の為退団までに関西歌劇団創立30周年記念として開催された「小宰相」への出演を皮切りに、「ラ・ボエーム」ムゼッタ役、「運命の力」プレチオシツラ役、「フィガロの結婚」スザンナ役、「魔笛」侍女役などのオペラ公演に出演する。日本演奏連盟推薦リサイタルを始め多くのコンサートに出演。1982年渡欧し、ウィーン国立音楽大学オペラ科を経て、リート・オラトリオ科を卒業。オペラをカール・エッティ、ハンス・ツ



インマーに、リート・オラトリオをクルト・エクビルツに師事。その間、ウィーン・モロカナ教会の専属歌手として活躍。1985年ウィーン・術週間において、ペーターヴェン オラトリオ「オリーブ山のキリスト」の独唱を務める。帰国後は和泉市久保惣記念美術館、香里園・岡記念館などでリサイタルや多くのコンサートで活躍。1987年から2012年3月まで青山短期大学非常勤講師。2000年から大阪フオーニククワイアの合唱指導に当たっている。

### 石原 祐介

崇徳高校、京都産業大学に在学中はグリークラブに所属し、男声合唱にあけくれる青春時代を過ごす。その後、京都市立芸術大学、同大学院音楽研究科声楽専攻を卒業、修了。卒業時に音楽学部賞を受賞。第21回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第2位。これまでに「第九」、「エリア」、「カルミナ・ブラーナ」、「ドイツ・レクイエム」のバリトン独唱や、バッハ、モーツァルトなどの宗教曲の独唱者を務める。オペラでは、「フィガロの結婚」フィガロ役、アルマヴィーヴァ伯爵役、「ドン・ジョヴァンニ」表題役、「ラ・ボエーム」マルチエッロ役、「ジャンニ・スキッキ」表題役、「ドン・バスカーレ」マラテスト役、「愛の妙薬」ベルコーレ役、「祝い歌が流れる夜に」金沢公一郎役、「夕鶴」運ず役などに出演。



合唱音楽の分野では、世界合唱連合(IFCM)が主催する、World Youth Choir や、World Chamber Choir

の日本代表メンバーに選ばれ、アジア、ヨーロッパ各地でのコンサートツアーに参加した。また、トヌ・カリユステ氏、テオドラ・バヴロウツ女史、エルヴィン・オルトナー氏、松原千振氏による合唱指揮マスタークラスを修了。その他、アマチュア合唱団の指導を複数の団体に務めている。声楽を 瀧井誠、山口はやとの各氏に、指揮法を青木邦夫氏に、合唱指揮を 吉村信良氏に師事。現在、京都市芸術大学音楽学部非常勤講師。JCDA 日本合唱指揮者協会会員。同志社グリークラブボイストレーナー。あふみヴォーカルアンサンブル、アンサンブル・ルーチェ各トレーナー。京都バッハ合唱団団員。

